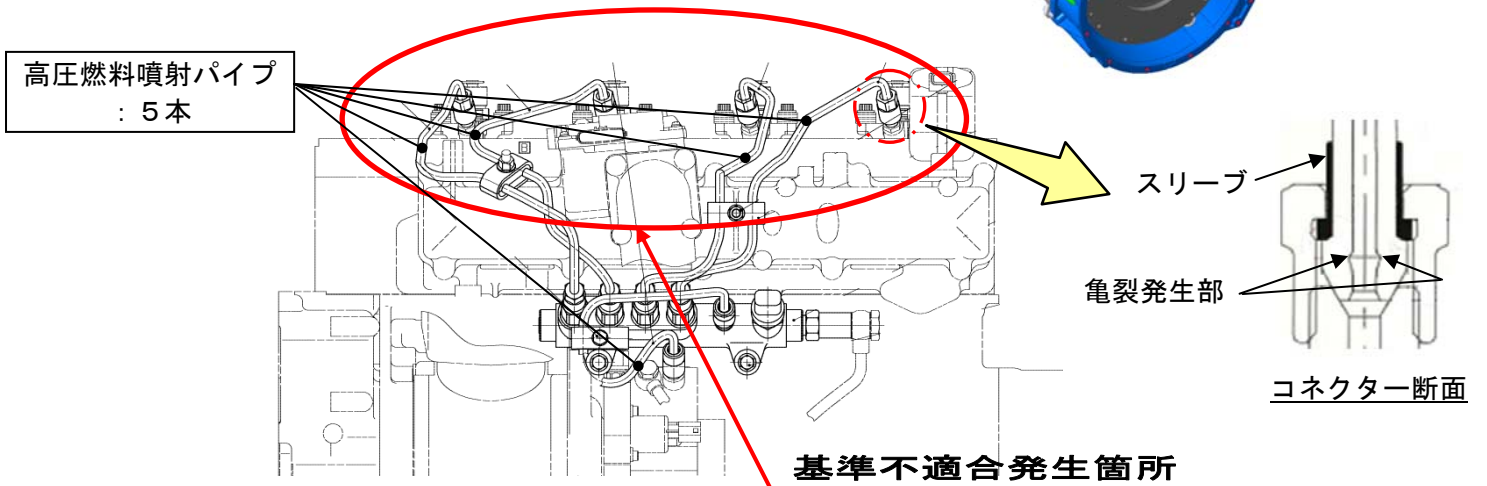
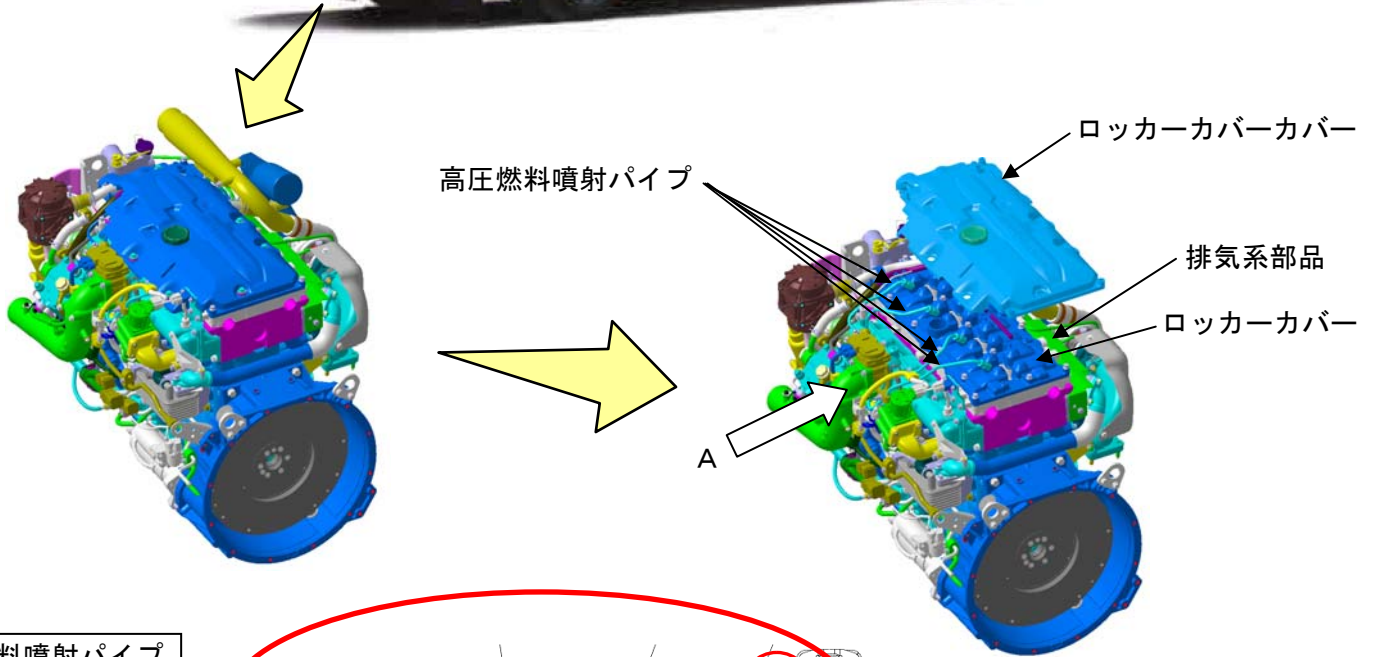


改善箇所説明図



A矢視図

大中型バスに搭載された原動機において、高圧燃料噴射パイプの製造時のばらつきにより、当該パイプのコネクター部内面に発生したしわに燃料噴射圧が加わり、当該パイプのコネクター部に亀裂が入り燃料がにじみ滴下するものがある。そのため、そのままの状態で使用を続けると、にじみ滴下した燃料がエンジン上部にあるロッカーカバーの溝に溜まり、車両の挙動により溜まった燃料が外部に漏れ出し、火災に至るおそれがある。

改善措置の内容

全車両、高圧燃料噴射パイプを対策品と交換する。

注 : は、交換部品を示す。

識別 : 作業完了車には、車両左後方点検リッド裏に「MB 2 1」の文字が記載された白黄色のシールを貼付ける。